



子供たちに伝えたい日本のよさ

【資料作成の趣旨】

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を見据え、国際社会の一員としての自覚と行動力をもち、世界の人々と交流できる人材の育成が一層求められます。そのためには、子供たちが、世界に誇る我が国の伝統・文化や最先端の技術力等を理解し、日本人としての自覚を高めることが大切です。

本資料では、世界から高く評価されている我が国の伝統・文化や、先人の優れた業績について、具体的な事例を紹介していきます。

各学校において、様々な教育活動で御活用いただき、子供たちが、改めて日本のよさを理解し、日本人としての自覚や誇りを高めることができるよう指導を進めていただくことを期待しています。

【このような場面での活用が考えられます。】

- 朝礼の講話
- 関連する授業や道徳の授業の導入での話題提供や終末での説話
- 学校だよりや学級だよりのコラム
- 学年集会や学校行事等での講話 等



— 今月のテーマ — — 災害時等での行動 —

「東日本大震災から2年 日本から学ぶ10のこと」
～元世界銀行副総裁 西水美恵子さんの毎日新聞の寄稿（平成25年2月10日）より～

東京に出張していた世界銀行ワシントン本部の元部下の女性が、東京からの電話で巨大地震の発生を知らせてくれた。この元部下は、地震直後の東京で、多くの人が整然と助け合っていることに感動したという。この元部下は、その後ワシントンに戻り、「これが世界銀行やIMF（国際通貨基金）はもとより世界中を駆け回っている。」と、あるメールを転送してきた。このメールには、次のように書かれていたという。

「10 things to learn from Japan（日本から学ぶ10のこと）」

- 1 The Calm（平静）
悲痛に胸を打つ姿や、悲嘆に取り乱す姿など見当たらない。悲しみそのものが気高い。
- 2 The Dignity（威厳）
水や食料を得るためにあるのは、秩序正しい行列のみ。乱暴な言葉や、無作法な動作など、ひとつとしてない。
- 3 The Ability（能力）
例えば、驚くべき建築家たち。ビルは揺れたが、崩れなかった。
- 4 The Grace（品格）
人々は、皆が何かを買えるようにと、自分に必要なものだけ買った。
- 5 The Order（秩序）
店舗では、略奪が起こらない。路上では、追い越し車も警笛を鳴らす車もない。思慮分別のみがある。
- 6 The Sacrifice（犠牲）
50人の作業員が、原子炉に海水をかけるためにとどまった。彼らに報いることなどできょうか？
- 7 The Tenderness（優しさ）
レストランは、値を下げる。無警備のATM（現金自動受払機）は、そのまま。強者は弱者を介助する。
- 8 The Training（訓練）
大人も子供も、すべての人が、何をすべきか知っていた。そして、すべきことをした。
- 9 The Media（報道）
崇高な節度を保つ速報。愚かな記者やキャスターなどいない。平静なルポのみがある。
- 10 The Conscience（良心）
停電になった時、レジに並んでいた人々は、品物を棚に戻して静かに店を出た。

私たちが、日常生活の中で当たり前のように行っていることが、世界からとても素晴らしいと認められることがあります。学校生活の中では、どのような場面で見ることができのでしょうか。

日本の伝統・文化紹介

【風呂敷】

日本では奈良時代から、風呂敷のような、方形の布でものを包む道具がありました。それらは平安時代では「古路毛都々美（ころもつつみ）」や「平包み(ひらつつみ)」と呼ばれました。

室町時代の、将軍足利義満が大湯殿を建てた当時の風呂はサウナのような蒸気風呂が一般的で、床に麻の布が敷かれていました。大名たちはこの風呂に入る際に脱いだ着物を布に包んだり、布の上に座って身づくろいしたりした、という記録が残っており、これが風呂敷の由来とされています。

江戸時代の初めになるとお湯を張る風呂が一般的になり、手ぬぐいや浴衣、洗面道具を風呂敷に包んで銭湯へ通うようになりました。このようなことから風呂敷が日常使う道具となっていきました。

また、風呂敷の柄や模様については、室町時代、大名たちは風呂で他人のものと区別するため、目印として風呂敷に家紋を入れるようになります。商人の間でも風呂敷が使われるようになってくると、宣伝のために屋号や商標を柄に用い商人のトレードマークとなりました。

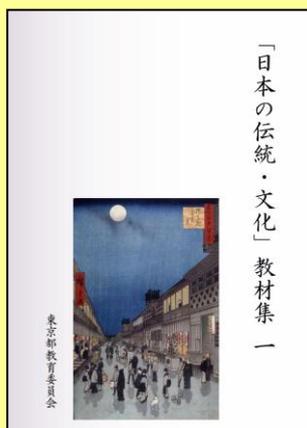
風呂敷の柄には松竹梅、鶴や亀といった吉祥紋(きっしょうもん)と呼ばれるめでたいものがあります。



東京都教育委員会が作成した資料等

※東京都教育委員会のHPに掲載しています。

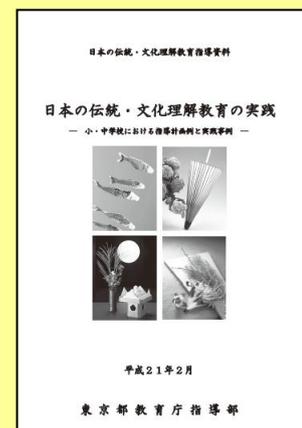
(http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/buka/shidou/dentou_top.htm)



「日本の伝統・文化」教材集 一
(平成18年12月)



「日本の伝統・文化」指導書
(平成19年1月)



日本の伝統・文化理解教育の実践
(平成21年2月)

【その他の指導資料】

- ・日本の伝統・文化理解教育入門 平成18年3月
- ・東京都立学校 学校設定教科・科目「日本の伝統・文化」カリキュラム 平成18年8月
- ・日本の伝統・文化理解教育指導事例集 平成19年3月
- ・日本の伝統・文化理解教育の一層の充実に向けて 平成22年3月
- ・小・中学校「日本の伝統・文化」指導書 平成23年3月

伝統・文化に関するイベント等

★都立中央図書館

企画展示（会場：4階企画展示室、入場無料） 午前10時から午後5時30分まで
「東京の都市計画 ～魅力ある世界都市を目指して～」

平成27年1月24日（土）から3月22日（日）まで

※関東大震災や戦災など、いくつもの惨禍から再生・発展してきた東京の都市計画について、図書館資料で紹介します。

★都立多摩図書館

都立多摩図書館「東京マガジンバンク」企画展示

「創刊号に見る明治・大正の時代 一文芸誌を中心に」

前期（明治期）平成27年1月9日（金）から3月4日（水）まで

開館時間：午前9時30分から午後7時まで（土日祝日は午後5時まで）

※明治・大正時代に創刊された文芸誌の変遷と創刊号コレクションを展示します。明治期は西洋の思想や文化の流入により大きく変わっていく姿を紹介します。大正期は3月6日（後期）から展示します。

★東京都江戸東京博物館 ※ 常設展示室は平成27年3月27日（金）まで改修工事中

特別展「探検！体験！江戸東京」

平成26年12月2日（火）から平成27年3月8日（日）まで

開館時間：午前9時30分から午後5時30分まで（土曜日は午後7時30分まで）

※江戸東京の歴史や文化に関する、珍しい資料や小・中学校の教科書に掲載されているような資料も紹介します。

★こども芸能体験ひろば in 東久留米

伝統芸能が体験できるワークショップと、プロの舞台を鑑賞できるプログラムを開催します。

〔日程〕 平成27年2月11日（水・祝）

〔時間〕 午後1時から午後4時30分まで

〔場所〕 まろにえホール（東久留米市立生涯学習センター）

※詳細は、（公社）日本芸能実演家団体協議会[芸団協]ホームページを御覧ください。

(<http://www.geidankyo.or.jp/>)

★江戸から伝わる一筋の道『第58回東京都伝統工芸品展』

世界に誇る、Made in Tokyoの技と伝統を御覧ください。

〔日程〕 平成27年1月21日（水）から26日（月）まで

〔時間〕 午前10時から午後8時まで

※1月23日（金）、24日（土）は午後8時30分まで、最終日は午後6時閉場

〔場所〕 新宿高島屋11階 催会場

※本資料に対する御意見・御感想や、本資料の活用実践等がありましたら、以下担当へ御連絡ください。今後の資料作成の参考とさせていただきますと考えております。

【担当】

東京都教育庁指導部指導企画課

03-5320-6869